

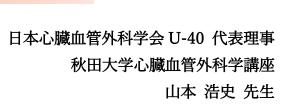


### The Japanese Society for Cardiovascular Surgery Under Forty

# **U-40 Annual Report 2021**

U-40 担当理事ご挨拶	1
U-40 代表幹事挨拶	
U-40 副代表幹事挨拶	
支部紹介	4
<b>・</b> 北海道支部	
•東北支部	
<b>,</b> 関東支部	
•東京支部	
・中部支部	
・近畿支部	
·中国四国支部	
·九州沖縄支部	
U-40 プロジェクト活動報告	39
・日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム	
·Advanced Lecture Course	
<b>・</b> 基本手技定量化プロジェクト	
+先天性プロジェクト	
・女性医師キャリア形成プロジェクト	
・NOTSS (Non-Technical Skill for Surgeon)プロジ	ェクー
・血管外科プロジェクト	
オンライン BLC	48
第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会	50
特別企画「心臓血管外科とダイバーシティ」	
発表報告	
U-40 主催ハンズオンセミナー開催報告	
U-40 2020 年度会計報告	52
編集後記	53

#### U-40 代表理事挨拶





日本心臓血管学会のU-40担当理事を2020年に前任の福田幾夫先生から引き継いで早2年が過ぎました。2019年末以降、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、人々の往来が制限されたため世界的に学会活動が影響を受けております。U-40の活動もWeb形式を念頭においたトレーニング方法になり、現在もそれが続いております。

U-40 は心臓血管外科医を志す 4 0 歳以下の医師に、将来、我が国における高度な医療を担うための研鑽の場を提供する本学会に特徴的な教育プログラムであり、本来ならば対面開催が望まれるところです。しかしながら国内 8 支部で開催される Basic Lecture Course (BLC) は Web 形式が標準となり、学術総会の Advanced Lecture Course (ALC) ではシミュレーターによる Zoom 上での競技となりました。本来集合して手取り足取りの指導や評価を行うのが効果的でありますが、残念ながら、これからも対面形式は困難である可能性が高いと予想されます。

U-40 メンバーは引き続きこの困難に立ち向かい、新しいトレーニング方法の開発を模索し続けることになりますが、このような事態においても特記すべき喜ばしい産物があります。ここ2年間の実習も座学(講義)もアーカイブとして保存され、SNSを通じて何度でも視聴(繰り返し学習)することができるという教育方法が定着しました。それらアーカイブの視聴によって、重篤な心臓血管疾患に対する高度な外科治療を実践する心構えや手術手技の鍛錬につながると考えられます。

第52回の日本心臓血管外科学会学術集会(横浜)はオミクロン株による第6波の最中に開催されます。今回も学会場に集合できずWeb参加の会員が多数おられますが、きっといつかは笑顔で直接対面できる時代が来るだろうと期待しております。将来、直接対面が可能になっても「with コロナ」は永遠に続くことになりますが、そのような状況でも、何が何でも、様々な形式でU-40活動は維持されて行くべきと思います。U-40は学会員の皆様からのご指導ご鞭撻を賜りながら、今後もより充実した教育プログラムを構築する努力を続ける所存です。U-40は学会員の皆様の大きな協力があってこそ運営されてきております。今までの寛大なる応援に対し心から感謝申し上げますとともに、今後も引き続きご助力を賜りますようお願い申し上げます。

#### U-40 代表幹事挨拶

#### 東邦大学医療センター佐倉病院 心臓血管外科 田中 千陽



U-40代表幹事の田中千陽と申します。昨年度も無事に活動を終えることができ、ご支援をいただいた皆様に感謝申し上げます。昨年度は引き続きコロナ渦の影響を受けてきましたが、今までのノウハウを生かして WEB 講演会を多く開催することができました。現地開催でハンズオンや懇親会ができる方が良いのは言うまでもないのですが、それにしても WEB を使用した活動は昨年度でだいぶ成熟した印象があります。同時に WEB ではどうしてもできない活動はなにかということもわかってきたので、早めのコロナ収束が待たれます。

U-40 は 2014 年に創設されましたが、今では国内の医学系学会では若手組織のトップランナーであると自負しています。若手組織だからこそできること、特に新しい分野への試みを定期的にテーマとして掲げられたことは大きいかもしれません。そしてコアメンバーをはじめとする U-40 幹事は実務的であり、リーダシップを取ることができる人が成熟し、かつ周囲との連携がしっかり取ることのできるメンバーが集まっているように感じます。違うメンバーであれば違う色になるとは思いますが、昨年度までの活動はコロナというハードルがあったにも関わらず十分な内容ができたと思います。仕事で多忙な幹事も多くいた中で月に一度は詳細な会議を継続してきましたし、繁忙期にはそれ以上頻回にみんなで集まってたくさんの言葉を交わしてきました。これは自分にとっても大きな財産です。

これからも U-40 では若手外科医やコメディカル、ひいては患者さんに役立つことを積極的に発信したいと思います。同時に幹事にとっては運営、リーダシップなどを勉強し、自信を持って将来のリーダーとして活躍できる人材を育てる場であり続けたいと思います。今回は一緒に活動をしてきたメンバーが多く代替わりになります。素晴らしいチームとして、いつかまた一緒に働けると信じています。私自身は残り1年の任期で、後任への教育を主に考えています。

U-40 がこのようにのびのびと活動できるのは、学会からのサポートのおかげです。金銭面だけでなく、活動内容に関して非常に暖かく見守っていただき、学会での存在感も認めていただいているように感じます。U-40 が日本心臓血管外科学会の大きな特色の一つである、という言葉をいただけるよう、これからも幹事一同がんばりたいと思います。

最後になりますが、私は U-40 として一連の活動に関わっていること、そして素晴らしい仲間に囲まれていることを誇らしく思います。若手の先生におかれましては、ぜひ一緒に働いてくれる方がいれば嬉しいです。シニアの先生におかれましては、変わらぬご教授を賜れれば幸いです。引き続き、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### U-40 副代表幹事挨拶



大和成和病院 心臓血管外科 高橋 賢一朗

営に微力ながら協力させて頂いています。U-40のやることといえば①学会で一風変わっ たセッションを企画してモラトリアムに満ちたこの業界に一石を投じる②エキスパートの 先生方を招いて勉強会やハンズオンを企画して、その流れで若手同士交流する③アンケー ト調査を行って修練医世代の総意を吸い上げ学術雑誌で発信する④働き方改革や女性医師 活躍に注目し心臓血管外科医師が働きやすくする活動⑤オンライン環境でハンズオンをや る手法の開発⑥手術手技を定量評価する新技術の開発⑦外科医に必要な手術技術以外のス キル(アンガーマネージメント等)の探求・・・などなど挙げれば切りがないほど活動の 裾野が拡がってきました。しかし、何かにつけてコロナ流行が足枷になります。学術集会 は未だオンラインが主流で現地開催が叶わないことも多く、交流の場も長らく失われたま まです。ハンズオン企画も現地開催を目指して立案してみたものの、感染拡大の波に阻ま れ直前で中止を余儀なくされるなど、未だ逆境から抜け出せない感が否めません。 そんな中、我々U-40 はワーキンググループを中心に完全リモート環境での CABG ハンズ オンプログラムを昨年度から引き続き推進して参りました。Zoom と YOUCAN を使用し て累計で32回の少人数セッションが開催され、延べ130人以上の受講生の方々と30名以 上の講師の方々にご参加いただきました。こうした大規模リモートハンズオンは知る限り 国内で初めての試みであり、世界でも稀少な報告になると考え、原著論文として執筆し Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery Open に掲載されました。ぜひ PubMed The Remote simulator training of coronary artery bypass grafting during the coronavirus disease 2019 pandemic"と検索してみてください。Free Access ですのでどなたでもご覧い ただけます。また YouTube で一連のリモートハンズオンの録画風景を Up し、知識の幅広 い共有を試みました。その結果チャンネル登録者 220 名、総視聴回数 13000 回、総視聴時 間 1415 時間と予想を大きく上回るご好評をいただきました。こうしたコロナの環境にあ っても、心臓血管外科修練医が心にもつ研鑽に対する熱意が失われていないことを再認識 し、今後もコンテンツの拡充を図る所存です。来年度は CABG だけでなく弁置換などの手

U-40 副代表幹事を拝命して 3 年目となり、多岐に渡りプロジェクトを進行する U-40 の運

我々がこうした活動を続けていられるのは、心臓血管外科学会の後押しがあってこそであり、この場をお借りして理事の先生方、事務局の方々に深く御礼申し上げます。U-40 は変化に貪欲に、ますます活動の幅を広げて今後も邁進していく所存です。心臓血管外科に関わるみなさまにご支援・ご協力を頂けますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

技にも着手するべく、プログラム開発を進めて参ります。

## 支部紹介

### 北海道支部

北海道は広大な大地を各施設が広い医療圏でカバーし合いながら高度な医療を提供しています。 また各施設の心臓血管外科医の数も少なく、各々が日々の診療で多忙な中、外科医としてのスキルアップに望んでいます。土地・気候の特殊性からの独特な疾患もあり、野生動物による外傷や、雪かき中の大動脈解離(結構多いです)などは北海道ならではの経験だと思います。心臓血管外科医の教育においても3つの大学を含む35の修練施設で若手の教育に尽力しています。土地柄なかなかみんなで集まる機会は少ないですが、これまでのU40の活動を通して知り合えたつながりを大切にして活動を楽しんでいます。

#### 北海道支部長

#### 旭川医科大学 外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野教授 東 信良 先生

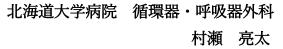


北海道支部長を務めております東です。COVID-19 感染爆発前から U-40 の活動をみせてもらってきましたが、2020 年以来、U-40 の活動は大幅に制限され、苦しい時代を迎えております。

北海道支部は丁度その時期に幹事の交代時期を迎え、U-40 の活動継続が大変心配されたのですが、3 大学の若手が力を合わせて、社会や環境の変化に柔軟に対応し、オンライン環境なども駆使して、現地に集まることができなくても、活動を続ける姿勢は称賛に値するものと、改めて若い力の素晴らしさを感じております。他地域の U-40 との情報交換や連携も重要であったと感謝しております。

こうした時こそ、知恵を絞り、大学の垣根を越えて、苦しい中でどう行動してきたか を、さらに若いメンバーに見せていただけることを期待しております。

#### 北海道支部代表幹事





2020年度より北海道支部代表を務めさせていただいております。今年度は主な活動として BLC、座学、コラムなどがありましたが、いずれも on line でのものであり、非常にもどかしい気持ちを感じながらの活動となりました。

北海道は地理的な関係上、他支部の皆様はもとより、道内の先生方との交流もなかなか難しい特殊な環境にあります。

これまでの U-40 の活動を通し、距離や医局を超えてたくさんの先生方との交流を持つことが可能となったのは個人的に非常に大きな財産となっているため、このような時代の中でもなんとか同じような経験を後輩に共有したいと考えております。

今後もこれまで以上に道内の若手心臓血管外科医を活発に盛り上げ、道内外の皆様とも密な関わりを持てるよう努力してまいりますので、よろしくお願いします。

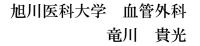
#### 北海道支部副代表幹事

国立带広病院 心臓血管外科 沼口 亮介



若手外科医の技術向上に何らかの形で貢献できるように努力してまいります。よろしく お願いします。

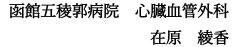
#### 北海道支部広報





北海道支部広報を担当しております、旭川医科大学血管外科の竜川貴光と申します。今年は大分リモート化も浸透し、私自身も学会でのリモート発表など、貴重な経験ができました。U40としての活動としても、online BLC において北海道支部としてのみならず、血管外科グループとしての活動にも携わらせていただき、大変光栄に思います。まだまだ以前のような自由に行き来し自由に人と交流することは叶わない情勢ではありますが、少しずつでも生活スタイルがよくなっていくよう、微力ながら努力していく所存です。また、2023年の心臓血管外科学会は旭川開催ですので、U40北海道支部として全力で臨んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

#### 北海道支部幹事





札幌医科大学心臓血管外科所属で現在は函館五稜郭病院に勤務しております在原綾香と申します。私が幹事になったのは 2020 年からで、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限されている状況でしたので幹事として全くお役に立つことができておりませんでしたが、今年度はオンライン BLC を担当させて頂くなど少しだけ活動に参加することができました。来年度以降、感染状況が落ち着きましたらもっと活動が増えると思いますが、微力ではありますがさらにお役に立てればと思いますので宜しくお願い致します。

#### 北海道支部幹事

### 砂川市立病院 心臓血管外科 内山 博貴



砂川市立病院心臓血管外科の内山と申します。幹事を務めさせていただき、早くも3年目になります。昨年は北海道支部のオンラインBLCを担当させて頂き、自分にとって非常に有意義で良い経験となりました。北海道民にとって津軽海峡を越えるのはハードルが高いことが多いので、オンラインは非常に有用なのではないかと感じました。引き続き若手心臓血管外科医が盛り上がることができるようお手伝いできればと思います。よろしくお願い致します。

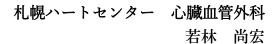
#### 北海道支部幹事

帯広厚生病院 心臓血管外科 杉本 聡



コロナ禍で学会やレクチャーが現地開催できない一方で、地方ではオンライン開催故にアクセスしやすいというメリットもあり、U-40においてはオンラインBLCが一つのあり方として定着してきていると感じます。若手心臓外科医にとってスキルアップとモチベーション維持の場になるよう自身も学びながら貢献してまいります。宜しくお願いします。

#### 北海道支部幹事

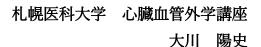


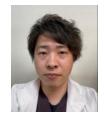


一昨年、前幹事の中西仙太郎先生(写真左)より拝命を受け、2年目を迎えました。コロナ禍の影響もあり、他施設との関わりが限られる中、U40は同年代の先生方と交流出来る貴重な場であると感じています。先日北海道支部より Online Lecture を開催することが出来ましたが、旭川で開催される 2023 年度の日本心臓血管外科学会学術集会では、直に交流し、刺激し合えることを切に願っています。

個人としては、2021 年 4 月より札幌心臓血管クリニックに異動となりました。当施設では、主治医制をしいており、術前プランニングから実際の手術、術後管理まで主治医が責任を持って行っています。当たり前のような話ではありますが、最適な術式・デバイスの選択からリスク管理まで自身で考えて行う手術は、上級医の指示・指導下で行うそれと比較し、求められる責任感が全く異なります。その中で知識や技術の圧倒的な不足を痛感する昨今ではありますが、一つ一つの症例を大切に、独立した執刀医となれるよう日々精進してきたいと思います。

#### 北海道支部幹事

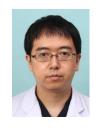




札幌医科大学心臓血管外科学講座 大川陽史です。4月に函館五稜郭病院より転勤となり心機一転札幌の地で励んでおります。コロナ禍において他会員の先生と関わる機会が少なく寂しい時期が続いておりますが、いずれたくさんの先生とまた関われる日を心待ちにしております。現在まで御活動に関わる機会が少なく大変申し訳ございませんが本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 北海道支部幹事

#### 神奈川県立こども医療センター 心臓血管外科 庭野 陽樹

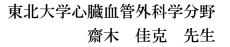


北海道支部の庭野と申します。専門は先天性心疾患です。U40 のさらなる発展に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 東北支部

東北支部は東北 6 県(青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)で構成される支部です。東北の福島には EBM の FIST があり、手術トレーニングには恵まれた環境にあります。ここ数年はコロナの影響により、会員が直接会うことはできませんでしたが、幹事は個性的な者ばかりで、飲み会になればそれは楽しいメンバーです。東北支部ではアットホームな横のつながりは、日常の臨床の疑問の共有や、時には患者の紹介など、非常に多くの面で活躍しています。今後も、アットホームな東北支部は、3つの笑顔に向かって突き進んでいきたいと思います。

#### 東北支部長





2021年度における東北支部主催のBLCは、社会情勢を鑑みて昨年度同様オンライン形式での座学として開催されました。課題は「三尖弁逆流」で、講師は移動の少ない地区内から選手ということで弘前大学心臓血管外科に就任されて間もない皆川正仁先生が担当されました。三尖弁形成術における手術手技のポイントとPitfall、複雑な形成にどこまで挑むか、TS評価やTVRへの移行のタイミングなど実際の症例提示を含め示されたことで、これから三尖弁輪形成を行っていく若手心臓血管外科医に向けて非常にわかりやすいご講演でした。

また、秋に開催された「online BLC ハンズオンセミナー」では岩手医科大学心臓血管外科教授の金一先生によって、CABG を主題としたハンズオンセミナーが行われました。グラフト採取の具体的な採取時間、グラフト採取でいかに上司の信頼を勝ち取るかなど、CABG の具体的な技術指導にとどまらず、実践的な思考過程についても学びの機会を与えて頂きました。

いずれも適格な講師をオンライン上にお招きすることにより、大変充実した勉強会を 構成することができ、とても充実した時間となったとの声が多かったと報告を受けてお ります。参加形態の変化にも柔軟に対応し、首尾よく運営されたことを称賛していま す。

このような所属する学会とその会員のために自らの時間とエネルギーを注ぎ込んで有意義な企画を行い運営する姿はとても頼もしい限りです。そのような主体的で献身的な活動を、とても高く評価しています。これからもその姿勢が維持されることでしょうし、私たち指導医も U-40 を支援し、そこから喜びを分かち合いたいと思います。

#### 東北支部代表幹事



### 秋田大学医学部附属病院 心臟血管外科 高木 大地

昨年度より東北支部代表を務めさせていただくこととなった高木大地と申します。コロナ時代という新たな状況の中で、東北支部としてこれまでと違う活動を必要とされました。しかしながら、前東北支部代表である黒田先生が作り上げた横のつながりの強い東北支部幹事の仲間のおかげで、オンライン BLC における講義やハンズオンセミナーなど東北支部らしく開催できたと思います。今年の目標は、U40 が目指す3つの笑顔を作り上げながら、それが継続できるように新しい幹事を増やしていくことだと思っています。若手心臓血管外科医の皆さん、U-40 が目指す「3つの笑顔」を一緒に作り上げていきましょう!!よろしくお願いします!!!

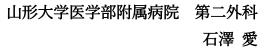
#### 東北支部副代表幹事



弘前大学医学部 胸部心臟血管外科 小渡 亮介

U40 アンダーロー幹事の小渡です。だいぶ年をとりました。まだまだコロナ禍で息苦しいですね。ところで、幹事をやっていると U40 の中にいるスーパーマンたちを見る機会が多く、しょっちゅうビビっています。どうしても U40 内で存在感があるメンバーは学年が上で、新しい U40 メンバーから見たらなおさらスーパーマンに見えてしまうのではないかと心配しています。BLC などが web 中心になり、なんとなく「自分なんかが…」と輪に加わるのをためらう人も…いるのではないでしょうか?もう2年くらい新しい U40 メンバーには会えていないのですが、みんなもっと気楽に、都合よく BLC など U40 の活動に参加してもらえばいいんです(私見)。この集まりは目的ではなく手段なので、自分の成長のためにU40 をうまく利用するくらいでいいと思います。その中でいろんな人のつながりが増えていくと最高ですよね。新しく入ってくる人たちがU40 という手段をたくさん利用したくなるように、幹事や年長者たちが頑張っています。僕も今年は本を出版したり(メディカ出版から5月出版予定)、心臓血管外科と関係ない大きな研究したり色々頑張ります。苦しい中だからこそ、若手心臓血管外科医全体でこの業界を盛り上げて行きたいですね。

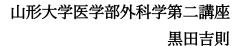
#### 東北支部広報





東北支部幹事 山形大学心臓血管外科の石澤愛です。U40 は医局や施設を越えた若手心臓血管外科医の先生方と繋がれる貴重な機会です。このご時世で直接顔を合わせる機会は減っているものの、U40 の活動を通じて学べる事、得られる事、医局や施設の垣根を超えた同年代の先生方との交流を大切にしていきたいと思います。よろしくお願いします。

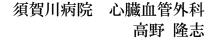
#### 東北支部幹事





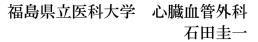
山形大学の黒田です。この度、40歳を迎え退任することとなりました。U-40発足時から 幹事としてお手伝いさせていただき、また東北支部の代表として活動した数年間、若手心 臓血管外科医の先生方の少しでもお力になれたなら嬉しいです。これからも U-40 の活動 を陰ながら応援しております。

#### 東北支部幹事





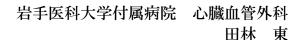
#### 東北支部幹事





東北支部の一員として活動させて頂いております、福島県立医科大学の石田圭一と申します。コロナ禍で直接顔を合わせる機会は少ないですが、東北支部では、zoom を用いた幹事飲み会や勉強会が開催されたりと、新たな試みも行われ、少しずつ交流の輪が広がってきていると感じております。微力ながらも U40 活動の発展に貢献出来ればと思います。学生のリクルートも頑張っていきたいです。

#### 東北支部幹事





2018年より U40 東北支部の幹事を務めさせていただいております。若手の心臓血管外科を盛り上げていけるように、微力ではありますが、努力したいと思います。よろしくお願いします。

#### 東北支部幹事

東北大学 心臓血管外科 伊藤 校輝

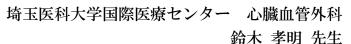


今年度で退任となります、東北大学の伊藤です。2020年度からの短い期間ではありましたが、U-40東北支部の幹事を務めさせて頂きました。東北支部の幹事の先生方には、色々と不慣れな点ありご迷惑をおかけしたかと思います。コロナ禍の中で、直接集まって切磋琢磨する機会を得られなかった事は心残りではありますが、日々のやり取りの中から同世代の熱い志を感じ、多くの刺激を得ることができたと思っています。今後もU-40が若手心臓外科医にとってますます有意義な活動となるよう願っております。2年間、本当にありがとうございました。

### 関東支部

今年度は4人の新幹事を迎え、コロナ禍であっても11名で力を合わせ、活発な活動ができました。BLC はオンライン化2年目となり、2021年7月に「大動脈基部手術」について國原孝先生に、2022年1月には「体外循環」について百瀬直樹先生に、座学のご講義をいただきました。ハンズオンでは、2021年8月の当支部担当回で、松宮護郎先生に冠動脈吻合のご指導をいただきました。さらに今年度は、理事の鈴木孝明先生が大会長を務められた第52回心臓血管外科学会学術総会にて、当支部がU-40特別企画を担当しました。「心臓血管外科医の未来とダイバーシティ」をテーマに、森田茂樹先生、田畑美弥子先生、奈良原裕先生、比嘉章太郎先生にご講演をいただき、心臓血管外科医としての生き方の多様性について有意義な討論を行うことができました。多くの先生方のお力添えにより我々の活動が成り立っていることを身に染みて感じた一年でした。

#### 関東支部長





U40の活動に関わるようになって約3年が経過しました。昨年は根本新代表のもと幹事の先生方も入れ替わり新体制の船出となりましたが、この1年は人類にとってもU40にとっても、そしてU40関東甲信越支部にとっても特別な一年となってしまいました。ご自分の所属する施設での診療は勿論のこと、U40の活動もCOVID-19に振り回された1年でした。その苦難の中、毎年恒例となっていたBLCを開催形態を変えて実行出来たことは皆さんの努力の賜物であり、また今後の活動を続けていく上での自信にもなったのではないでしょうか。座学については東京慈恵医科大学の森田紀代造先生による心筋保護の講義がWEBを使ったのline BLCとして配信されましたが、現地に居なくても受講することができたので、より多くの先生方が勉強する事が出来たと思います。現地での受講に加えてWEBでのアーカイブ配信を行うことや他の支部のBLCも受講出来るシステムが構築出来たことは今後のBLCの発展のために良かったのではないでしょうか。また、ハンズオンについても素晴らしいアイデアのもと、onlineで開催可能となりました。より多くの参加者が現場で指導を受けられる現地開催に勝るものはありませんが、online BLC ハンズオンも改良を加えながら現地開催に併用する道が拓けたと思います。COVID-19の感染状況にもよりますが、今年のBLCは是非とも現地で皆さんと顔を合わせて行うことができると良いですね。

U40 関東甲信越支部が今まで以上に活発に、そして新たな取り組みも入れて発展し続けて欲しいといつも願っております。その上で、少しでも U40 のお役に立てればと思っております。今年もまた U40 関東甲信越支部の皆さんとはお互いに切磋琢磨しつつ関東甲信越支部はもちろんのこと、U40 全体を更に発展させて行きましょう。今後とも宜しくお願いします。

#### 関東支部代表幹事

### 横浜市立大学附属病院 心臓血管外科 根本 寛子



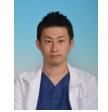
幹事に就任し早6年が経ちました。当初周りは日本の若手心臓血管外科医を代表する先輩 方ばかりで、私は陰で目立たぬようにしていましたが、気付けば支部で一番の古参となっ てしまいました。元々内向的な私は代表気質ではありませんが、皆様に助けられ、任期2 年を満了できました。

今年度から山形先生、平野先生、西織先生、森先生が入られ、支部は一層若返りました。 北條先生は異動後も当支部を選んで下さいました。新津先生と横山先生は U-40 とは思えな いベテランでいつも頼ってしまいました。来年度は新たに宮﨑先生を迎え、広報が澁谷先 生、副代表が三木先生、代表が伊藤先生という盤石の体制となることを安心して見届けな がら、退任させていただきます。

今まで共に活動した幹事の先生方、コアメンバーの先生方、田中代表、理事の鈴木先生、 山本先生、お世話になりました全ての皆様に心より感謝申し上げますと共に、U-40 の益々 の発展を祈念致します。

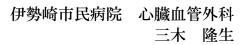
#### 関東支部副代表•広報

千葉県こども病院 心臓血管外科 伊藤 貴弘



全体広報と先天性プロジェクトを担当しております。若手小児心臓血管外科医のスキルアップに関して活動しております。U40の仲間と情報共有し若手心臓血管外科の未来を考えることは、自分のモチベーション維持にもつながります。全国各地の若手医師が情報共有できる環境を目指し、より良い日常診療・生活につながることを願っております。

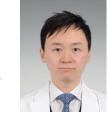
#### 関東支部幹事





2019年5月より U-40 関東甲信越支部幹事として諸活動に参加させて頂いております. 引き続き 2021年度も活動参加を継続させて頂きます. この活動を通して, (自分も含めた)心臓血管外科若手医師の研鑽の場としての BLC の更なる質の向上と, 同世代の輪・つながりを広げていく助力が微力ながらできたら幸いと考えています. 昨今の COVID-19 感染症蔓延をうけて従来形式の活動が制限され, なかなかもどかしい状況が続いていますが, その中でも web を介した interactive な活動を模索するよう努力するのが個人的な今年の抱負です. 皆様どうか宜しくお願い致します.

#### 関東支部幹事



順天堂大学附属順天堂医院 心臓血管外科 横山 泰孝

戸田中央総合病院心臓血管外科の横山泰孝と申します。関東甲信越支部の幹事を務めさせていただき今年で3年目になりました。COVID-19の影響で多くの学会や勉強会がwebで行われることになり、直接お会いする機会が減ったことは残念ですが、逆に日本全国の施設の先生とwebを通じて勉強できることで新しい発見もありました。今年は現地開催とwebの良いところを合わせることでU-40の同年代の仲間とともにより良い医療を提供できるように精進したいと思っております。今年もご指導よろしくお願い申し上げます。

#### 関東支部幹事



佐久総合病院佐久医療センター 心臓血管外科 新津 宏和

佐久総合病院佐久医療センターの新津宏和と申します。若手にとって実際臨床に繋がる 手術手技トレーニングなどに興味があります。活動を通して多くの先生方と交流を深 め、より良いものを作り上げて行きたいと思います。よろしくお願い致します。

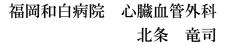
#### 関東支部幹事



防衛医大病院 心臓血管外科 山形 美里

U-40 関東甲信越支部幹事を務めさせていただいております、防衛医科大学校病院心臓血管外科の山形美里と申します。2018 年卒の医師 4 年目で、研修医修了後に陸上自衛隊伊丹駐屯地に勤務しております。2021 年度は大阪自衛隊大規模接種センターへの派遣等があり、上半期は U-40 活動に殆ど参加出来ず、誠に遺憾です。2022 年夏より、所沢の防衛医大病院に戻って心臓血管外科専門研修を開始する予定なので、より一層 U-40 活動に関わっていきたいと思います。また、U-40 での活動や交流を通じて、若手医師全体で切磋琢磨していけたら幸いです。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 関東支部幹事





U-40 関東支部の幹事の北條竜司と申します。2019年の BLC に参加した際に誘っていただき、2020年より U-40 関東支部の幹事を努めさせていただいております。

埼玉県久喜市の新久喜総合病院心臓血管外科に勤務の際に幹事になったため、現在関東支部 の幹事ですが現在は福岡県にある福岡和白病院に勤務しています。

若輩者ですがよろしくお願いします。

#### 関東支部幹事

横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管外科 森 佳織



2019年5月より U-40 関東甲信越支部幹事として諸活動に参加させて頂いております. 引き続き 2021年度も活動参加を継続させて頂きます. この活動を通して, (自分も含めた)心臓血管外科若手医師の研鑽の場としての BLC の更なる質の向上と, 同世代の輪・つながりを広げていく助力が微力ながらできたら幸いと考えています. 昨今の COVID-19 感染症蔓延をうけて従来形式の活動が制限され, なかなかもどかしい状況が続いていますが, その中でも web を介した interactive な活動を模索するよう努力するのが個人的な今年の抱負です. 皆様どうか宜しくお願い致します.

#### 関東支部幹事

千葉県こども病院 心臓血管外科 西織 浩信



千葉県こども病院心臓血管外科の西織浩信と申します。今年度より U40 関東甲信越支部幹事を務めさせて頂いております。COVID19 感染症の蔓延する状況下ではありますが、Basic lecture course 等に幹事として参加し大変貴重な経験をさせて頂きました。また今年度から先天性心疾患の勉強を始めた自分にとって、ビデオアーカイブは極めて有用で、素晴らしい勉強資料となりました。先輩先生方が作られたこれらの資料が今後も、新たに心臓外科の道に進まれる先生方にとって大変貴重な資料であり続けると確信しています。今年オンラインで得られた繋がりや知見を元に、今後も状況に応じた積極的な活動ができましたら嬉しいです。心臓血管外科 U40 の活動に関東甲信越支部幹事として携われる喜びを感じつつ、微力ながら貢献していきたいと思います。

#### 関東支部幹事



### 成田赤十字病院 心臓血管外科 平野祐一

成田赤十字病院 心臓外科の平野祐一と申します。2021年5月より、U40関東甲信越支部の幹事として、活動に参加させていただいております。

自分自身も成長しつつ、同世代のつながりを広げていく会の活動に少しでもお役に立てるように頑張ってまいりました。活動を通じて、貴重な経験をたくさん積ませていただきました。今後の U-40 の益々の発展を祈っております。本当にありがとうございました。

### 東京支部

東京支部は修練施設が密集しており、U40心臓血管外科医が多い支部の一つです。幹事構成は各分野にバランスの良いメンバーとなっており、成人心臓大血管7名、先天性3名、末梢血管1名で、幅広い活動を行っています。主要幹部やプロジェクトリーダーとして活躍している活動的な幹事が多い支部でもあり、著名な教授・講師の先生がたと交流する機会も多くあります。本年度は各個人の出向等もあり、東京に残留しているメンバーが少ない状態でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、WEB媒体での活動が多く、無事に活動することができています。各個人それぞれが多彩な経験を積み、情報共有することで、横の繋がりを大切にし、将来に向けて日々精進しています。

#### 東京支部長



東京大学大学院医学系研究科 心臓外科 小野 稔 先生

遅れに遅れた新専門医制度による心臓血管外科研修の正式な登録が 2022 年 4 月から開始されることになりました。U-40 のメンバーの多くは旧制度での心臓血管外科専門医をすでに取得したか、あるいは取得予定なのではないかと思います。ある意味では、今年から新しい世代の心臓血管外科若手医師が誕生するわけです。U-40 皆さんの暖かな包容力で大いに活気づけてくれればと思います。

U-40の弛まない努力によって、専門医取得のクレジットとして必須となる off-JT のトレーニング方式が定着してきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行が専門医資格の取得・更新に必要な症例数の確保を困難にしたばかりか、off-JT のクレジットとしてのトレーニングの機会まで奪ってしまうという大変に困った状況が 2 年間にわたり続いています。心臓血管外科学会の研修・教育委員会・Off-JT 普及推進 WG および U-40 運営員会・U-40 メンバーによって始められた on-line Off-JT のシステムは、U-40 のメンバーの豊かな発想力で、スマホ映像を巧みに利用する冠動脈吻合トレーニングへと結実していきました。今後、on-site Off-JT トレーニングに加えて、on-line トレーニングが多忙な若手外科医の技術向上に向けて大きな力を発揮していくものと思います。デジタル通信技術の進歩は急速で、トレーニングのみならず、学術集会の参加・発表形態についても変革し続けていくでしょう。U-40 の皆さんの情熱と行動力で、新たな時代に向けて次々と新しい情報を発信して、心臓血管外科の魅力を次の世代にどんどん伝えてくれることを期待しています。

#### 東京支部代表幹事



#### 川崎医科大学総合医療センター 総合外科学 丸野 恵大

2020年度より東京支部代表幹事を務めさせて頂いています。私事ですが、本年度は川崎医科大学総合医療センターへ出向しており、東京を離れて活動することとなりました。代表幹事が東京不在となるにも関わらず、東京支部幹事の先生方に御助力頂き、何とか活動することができました。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、本年度もBasic Lecture Course 講義がオンライン開催となりました。しかしながら、今年はBLC ハンズオンにとって大きな変革の年となり、オンラインでの指導や評価の体制が構築されました。コンテストもオンラインで視聴することができるようになりました。東京支部には各プロジェクトの中心となるメンバーが多く在籍しており、みなが多方面での活動をしております。自分としては、東京支部としての活動を円滑にまとめていけるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

#### 東京支部副代表幹事



### 青梅市立総合病院 心臓血管外科 櫻井 啓暢

2020 年度東京支部幹事に就任し、本年度より東京支部副代表を務めさせていただいております青梅市立総合病院心臓血管外科の櫻井啓暢です。U40 に参加することは知識や手術手技を修得するための研鑽の場だけでなく、同年代の仲間と交流を行うことで日々の励みにもなっております。本年度は学会や講習会が限定的に現地で開催されることもありましたが、新型コロナウイルスの影響でそのあり方が大きく変わったと思います。ただ学会にオンラインでの参加やオンデマンドで見られることはよい機会でもあると感じています。私自身もそのような環境が作れるよう尽力できればと思います。

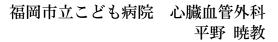
#### 東京支部広報



平塚市民病院 血管外科 林 啓太

平塚市民病院血管外科の林啓太と申します。慶應義塾大学の医局に属しており、2018年より東京支部の幹事を勤めております。末梢血管領域を専門としております。U-40を通じて、横の繋がりと縦の繋がりを大切にし、若手血管外科医として、これからの心臓血管外科、血管外科を盛り上げていきたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 東京支部幹事





U-40 東京支部幹事の平野暁教です。慶應義塾大学 心臓血管外科医局所属で、小児心臓外科として修練中です。U-40 先天性プロジェクトのリーダーもしています。2021 年 4 月より先天性心疾患手術数日本一の福岡市立こども病院に国内留学中です! 小児心臓外科をやりたい若手はぜひ一緒に頑張っていきましょう! 横のつながりはとても大切だと感じております。また、日本心臓血管外科学会 U-40 活動にも貢献できるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### 東京支部幹事

東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科 吉野 邦彦



2018 年度より U-40 東京支部に所属し、Advanced Lecture Course (ALC) のプロジェクトリーダーを務めさせていただいております。U-40 の活動を通じて、外科医として必要とされる技術、知識、人間性を学び、共有していくことを目標としております。U-40 幹事としてもまだまだ未熟ですが、活動を楽しみつつ、支部に貢献できればと思います。

#### 東京支部幹事

金沢大学 心臓血管外科 片桐 絢子



2020 年度から東京支部幹事をしています。U-40 で活動する機会を与えていただき、色々な方から刺激を受けて勉強させて頂いています。コロナの影響でオンラインでの交流が当たり前になった今、知識のアップデートや情報収集は、より効率的に容易になったと感じています。忙しい若手心臓血管外科医のために、少しでも還元できるように活動していきたいと思います。

#### 東京支部幹事



#### 東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科 星野 理(さとし)

2021年より田中 U-40代表に頼み込んで東京支部の幹事に就任させていただきました。2年前までは医局に属さず長野の地方病院で診療部長をしておりましたが今は都心の大学で大学院生という180度真逆の生活をしております。地方と都心の違い・医局員とフリーランスの違いを経験した立場から、医局制度を超えた若手育成の枠組み作りや、大都市への医師の偏在・地方の過疎化、病院の集約化などに興味があり、U-40としてそれらの問題に貢献できればと考えております。同じような問題意識をお持ちの方、ぜひここから変えていきましょう!

#### 東京支部幹事



榊原機記念病院 心臓血管外科 桑原 優大

本年度より東京支部幹事を拝命いたしました、榊原記念病院心臓血管外科の桑原優大と申 します。先天性心疾患手術を専門に日々研鑽を積んでおります。

成人期先天性心疾患手術も年々増えており、成人心臓血管外科の先生方との交流も以前より増え、横の繋がりの重要性を痛感している毎日です。

また今年は1児の父となり、より小児心臓外科医としてのオモミを感じております。 同世代の先生方から刺激をいただきつつ、医局や病院の枠を越えて、今後心臓血管外科学 会を盛り上げていけるような活動をしていけたらと思います。

#### 東京支部幹事



東京都健康長寿医療センター 心臓血管外科 伊達 数馬

2020 年より東京支部の幹事をさせていただいております。U-40 での活動も 2 年目となり、今年度は ALC プロジェクトでの活動も開始いたしました。まだまだ新型コロナウィルス感染症が日常診療や学会にも影響を及ぼし、もどかしい思いをすることもありますが、様々な方のサポートにより仕事が進められていることに感謝しております。心臓血管外科の更なる発展につながるよう、微力ながら尽力してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### 東京支部幹事



### 大和成和病院 心臟血管外科 高橋 賢一朗

東京支部所属、大和成和病院心臓血管外科の高橋賢一朗です。私はハンズオン企画に主に携わってきました。特に昨今は新型コロナウィルスの流行に伴い、オンライン Basic Lecture Course と銘打って、YOUCAN と Zoom を用いてリモートでの冠動脈吻合ハンズオン企画を運営して参りました。おかげさまで 2019 年から開始した本企画は述べ 30 回以上のレクチャーを受講生 100 名以上、講師の先生方 30 名以上のご協力の元行うことができました。今後、冠動脈吻合だけでなく新たなリモートハンズオン(弁膜症など)を開発すべく、準備を進めております。世の中は新たな感染症拡大で劇的に変遷し、過去に当たり前だったことが不可能になり、新たな常識が形成されています。医療現場もさることながら、外科医の修練環境にも変革が必要です。一連のリモートハンズオン企画を通して、我々U40 はやろうと思えば何とかなることを学びました。我々が提案できる形を常に模索しながら、時代のニーズに合わせて前進していきたいと思います。

### 中部支部

中部支部は愛知・岐阜・三重・静岡・石川・福井・富山の7県で構成されており、比較的広範囲を担っています。2020年度より各県から支部幹事を選出し、また各々の専門も成人心臓・小児心臓・末梢血管と3領域が網羅されバランスが取れているのが特徴です。昨年に引き続きCovid-19が蔓延する中で各々が県を跨いで会うことが困難となりましたが、そのぶん密に連絡を取り合うことで今まで以上に結束できたように感じます。今後もコロナ禍での中部支部の在り方を模索し続け、より良い活動ができるよう邁進したいと考えております。

#### 中部支部長



名古屋大学大学院 心臓外科 碓氷 章彦 先生

名古屋大学大学院心臓外科の碓氷です。日本心臓血管外科学会中部支部長を拝命しています。

U40 は私の前任の上田裕一名古屋大学名誉教授が 2012 年に日本心臓血管外科学会理事長に就任した際に、若手医師の意見を学会運営に反映させるために構築した組織です。発足から 10 年が経過し U40 の組織は成熟し、他学会から注目される組織となっています。 U40 は、U40 を卒業した中堅医師が若手外科医の教育に当たり、学会員全体がお互いに切磋琢磨しながらレベルアップして行く組織だと認識しています。若手外科医が集えるフォーラムとして利用頂きたいと思います。

中部支部は U40 活動を全面的にバックアップ致します。若手外科医は自己表現の場、自己修練の場として U40 を活用して下さい。中堅の皆様には、今後とも暖かいご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

#### 中部支部代表幹事



JCHO 中京病院 心臓血管外科 野田美香

2016 年度より中部支部幹事に就任し、2020 年度より支部代表を務めております JCHO 中京病院 野田美香と申します。以前は成人の心大血管および末梢血管を、昨年度に学位を取得し、今年度からは中京病院で主に先天心を勉強しています。来年度は'あいち小児病院'に赴任する予定です。今年も引き続き Covid-19 が蔓延する中で全ての規定概念を考え直し、早急に対応せねばならない激動の年となりましたが、今後も変化を受け入れ柔軟に対応できるよう努めてまいります。

#### 中部支部副代表幹事・広報



小牧市民病院 心臓血管外科 末永 啓人

#### 中部支部幹事

名古屋市立大学 心臟血管外科 慶應義塾大学 外科学(心臟血管) 山田 敏之



2018年より東京支部幹事、2019年から中部支部幹事、さらに U-40全体のコアメンバーとして手術の「基本技術定量化プロジェクト」のリーダーも兼任させていただいております。

「基本技術定量化プロジェクト」では、既に考案されていた金魚すくいのポイを用いたニードルワークをアップデートすべく、「スマートフォンカメラを利用したポイの縫合トレーニング自動評価アプリ(e-Suture)」を開発し、その内容を論文化しました。アプリのプロトタイプは AppStore から既にダウンロード可能ですが、現在アプリの精度を高めるべく絶賛改良中、さらに専用のトレーニングポイを他業種とのコラボ商品として絶賛開発中です。アプリ&ポイが完成した際には全世界に向けて発表し、本活動を「バズらせる」予定です!! ところで、私も(いつのまにか)40歳になりました。プロジェクトの目標達成も間近ですので、今後の活動は後進に譲り U-40の OB として諸々の活動の応援に携わりたいと考えております。

#### 中部支部幹事



金沢大学 先進総合外科 上田 秀保

何も達成できていないと感じながら卒後13年目になりました。

金沢大学 心臓血管外科の上田秀保です。今年から、中部支部の副代表となってしまいました。自施設での自分の存在意義も不確かなまま、U40でも存在意義が不確かなまま活動していくことになります。しかし、当初の自分と比較して感じていることは、技術や考えの継承が自分に大切であったと、ようやく気づけてきました。そこで、自分自身もまだまだ存在意義を確立できていませんが、U40を通して、自分より若年の心臓血管外科に少しでも継承できる何かを探し、伝えていくことで、自分の存在の意味につなげたいと考えております。どうかよろしくお願い申し上げます。

#### 中部支部幹事



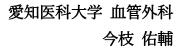
福井大学 心臓血管外科 矢野 啓太

福井大学 心臓血管外科 矢野啓太と申します。中部支部幹事を拝命してから、気づけば3年目が終わり、4年目に入ろうとしています。

これまでBLCに関してはオンサイト、web 開催いずれも経験しました。今後は学会もどんどんオンサイトもしくは web とのハイブリッド開催が増えるものと考えています。これまでの3年間で得た経験をさらに生かして行けたらと考えています。

私自身医師として12年目を迎え、自己研鑽だけでなく、より若い先生方や、所属施設、ひいては心臓血管外科そのもののために自分自身何ができるかをより深く考えながら活動して参りたいと思います。本年度もよろしくお願い申し上げます。

#### 中部支部幹事





愛知医科大学 血管外科の今枝です。2021年も日々の臨床、研究活動に加えコロナとの闘いに 忙殺された1年であったように感じます。2022年は少しでも今までの日常を取り戻し、幹事 の先生方と顔つき合わせての手術トレーニングや学会活動(あとは飲み会?)などを再開できる ことを願うばかりです。昨年からは中部支部の活動とともに、U-40血管外科チームが発足 し、メンバーとしての活動が始まりました。血管外科医として、若手の外科医への情報発信に 寄与できればと思っております。任期も丁度折り返しとなりました、引き続きよろしくお願い いたします。

#### 中部支部幹事

#### 愛知厚生連海南病院 心臓血管外科 西 俊彦



U-40 中部支部幹事の西俊彦です。成人心臓血管外科分野を専攻しております。若手の先生 方が学ぶ機会を数多く作れるよう頑張ります。ALC プロジェクトに参加させていただいてお ります。

#### 中部支部幹事

### 三重大学医学部付属病院 胸部心臓血管外科 別所 早紀



三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科の別所早紀と申します。 成人心臓血管外科を専攻しています。

U-40 で活動させていただき、同年代の方々の活躍に、一層身が引き締まる思いです。 日常診療に追われるだけでなく、日々研鑽を積んでいきたいと思います。今を大切に、精 一杯頑張ります。

今後ともよろしくお願い致します。

#### 中部支部幹事



名古屋大学 血管外科 鶴岡 琢也

名古屋大学大学院血管外科の鶴岡と申します。基礎研究の期間を経て、臨床に励む今日この頃です。市中病院で勤務していたころは research の重要性、意義というものがわかっていなかったように思います。大学院(大学病院)での生活を4年間経験し、症例や data の蓄積がどれだけ貴重なものか、理解できたような気がします。

と言いつつ、いざ臨床の場面では、個々人の経験や知識の蓄積が物をいう場面は多く、足りない経験や知識を他の先生方に助けてもらうことがしばしばあります。そんな中、U40という組織において、特に血管外科の分野で他の支部の先生方と交流ができることは、非常にありがたく感じます。血管外科医の明るい未来のため、同世代だけでなく、指導的立場の先生方や fresh な先生方とも交流をますます広げていきたいと思います。よろしくお願いします。

#### 中部支部幹事

富山大学 心臓血管外科 鳥塚 大輔

中部支部幹事

静岡県立こども病院 心臓血管外科 中村 悠治

中部支部幹事

岐阜市民病院 心臓血管外科 木股 竜太郎

### 近畿支部

近畿支部は滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫の6府県で構成されています。現在、滋賀・和歌山を除く4府県から計7名の幹事に参加頂いています。次年度はぜひ滋賀・和歌山からも近畿支部に参加していただきたいと考えております。2021年度は幹事の多くが入れ替わり、世代交代の1年でした。引き続き流行しているCOVID-19感染症によって、なかなか新しい幹事同士で顔を合わせてミーティングを行うことができずもどかしさを感じることもありました。しかし、近畿地区は非常に病院の数が多く、40歳以下の若手心臓血管外科医の数も多い地盤があると自負しております。我々がU-40全体を盛り上げていけるよう、尽力していきたいと思います。

#### 近畿支部長

### 京都府立医科大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 夜久 均 先生



みなさんこんにちは。日本心臓血管外科学会近畿支部長、京都府立医科大学 心臓血管 外科学の夜久です。

令和3年度も新型コロナの影響で、対面の催し、特にウェットラボは困難な状況でした。従って昨年12月に行われましたBLCはWEB開催だけになってしまいました。皆さん若手が一同に会する機会が無く悶々とした日が続くと思いますが、ここは焦らずにそれぞれ各自が工夫を凝らし、everyday practice に励んでください。

U-40 のもう一つの大きな目的は、同世代で一流の心臓血管外科医になるという共通する目標を持った若者の交流かと思います。もちろんしばらくは対面での交流は難しいと思いますが、これこそ WEB が対面より多くの人を繋げるポテンシャルがあるかと思いますので、是非若手同士が思いや夢を語る場を設けていただき、意見交換をどんどんやって下さい、またそこにおじさん外科医を引きずり込んでも良いのではと思います。

来年度からは近畿支部の U-40 メンバーもだいぶ変わると聞いていますが、U-40 のメンバーが次の心臓血管外科の世界を造っていくと信じていますので、大いに頑張ってほしいと思います。

#### 近畿支部代表幹事



## 京都府立医科大学 小児心臓血管外科 本宮 久之

京都府立医大の本宮 久之(ほんぐう ひさゆき)です。前任の桑内先生からバトンを引き継ぎ、あっという間に 2 年が経ってしまいました。上にも書きましたが、昨年も COVID-19 感染症の影響でなかなか幹事同士が顔を突き合わせてミーティングを行うことができず、U-40 のために何ができるのか迷いながら試行錯誤を繰り返す 1 年でした。Online のミーティングは確かに慣れれば便利なのですが、幹事の大半が昨年度新たに加入してくれたような当支部にとっては早く COVID-19 が落ち着いて、直接飲みに行ける様な機会があればと切に願う日々です。私の任期も残り 2 年となりました。次の近畿支部に何を残せるか、次世代の事も考えて活動をしていけたらいいなと思っています。また、私は先天性を専門にしており、全国で先天性を志す U-40 のみなさまともぜひ横のつながりを作り、より良い off the job training の機会の提供などについても粉骨砕身したいと考えております。ほんの少しの閃きで心臓血管外科医の未来は大きく変わると思います、忌憚ないご意見やアイデアなど、遠慮なくご連絡頂ければ幸いです。

#### 近畿支部幹事

兵庫県立尼崎総合医療センター 植野 剛

2021年4月まで近畿支部幹事を務めておりました、植野 剛と申します。

心臓血管外科業務に没頭する中で、臨床現場における数々の非効率性や制度上の問題等に直面し、それらに対する問題意識が大きくなり、一旦臨床を離れ、取り組むことと致しました。これに伴い、U-40 幹事も退任致しました。

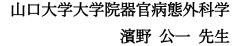
現在は、非効率性を直接的に解決する製品・solution を扱う株式会社 Philips Japan に Medical Director として勤務する傍ら、制度上の問題点には政策面から取り組む必要もある為、Policy makers lab (PML) で Managing Partner として医療・Healthcare 分野の政策立案・提言も行っております。

立場が変われど、日本の心臓血管外科の発展を願う気持ちには全く変わりはありません。 何かお手伝いできることがありましたら、いつでもご連絡お待ちしております。

### 中国四国支部

中四国9県にまたがる広いエリアで活動しています。2021年度のBLCは当支部では「心筋保護」をテーマに、リアルタイムアンケートを使用した双方向性を取り入れてのオンラインレクチャーを開催いたしました。たくさんの方にご参加いただき、アンケートはどれも興味深い結果となりました。来年度は幹事に新メンバーが4名入り、より若返って活動していく予定です。各県持ち回りのオンサイトBLCの再開も近年中にいつかと期待しつつ、新しい取り組みを今後もみんなで考えていけたらと思います。

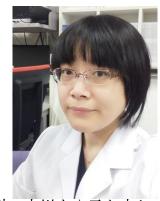
#### 中国四国支部長





一昨年より U-4 0 の中四国支部長を務めています。コロナの影響で、ここ2年は、U-40 の活動が、オンラインでの BLC などに制限され、対面の活動が出来ず、U-40 の先生方もストレスが溜まっていることと存じます。一日も早く、対面での座学、デイスカッション、ハンズオンが出来ることを祈念しています。我々、指導する立場の者も、U-40 の先生方のエネルギーあふれる表情に接することで、元気を頂いている次第です。非力ではありますが、U-40 のために尽力しようと思っていますので、どうかよろしくお願いいたします。

#### 中国四国四国支部代表幹



### 四国こどもとおとなの医療センター 小児心臓血管外科 中川 さや子

こんにちは、四国こどもとおとなの医療センター小児心臓血管外科の中川さや子と申します。本年度はのっけから BLC の開催が危ぶまれ、ここ数年続いていた異様に参加率の高い懇親会もできそうもなく、良い流れを断ち切ってしまうことに無念を感じておりました。しかし蓋を開けてみれば全国のベテランの先生方、U-40 メンバー全員を巻き込んでのオンライン BLC は、今までにない新しい面白さの連続でした。そんな新しいオンライン BLC に、レクチャーやハンズオンの準備はもちろんのこと広報担当としても WEB サイトやポスターの作成などで貢献できたことがうれしかったです。企画半ばに体調の都合でお休みをいただいてしまったことが悔やまれますが、おかげさまで元気に職場復帰できまして今後も幹事続投の予定です。来年度の BLC は何が起こるのか、楽しみにしていただけますと幸いです。

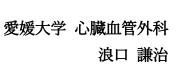
#### 中国四国支部副代表幹事



#### 岡山医療センター 井上 善紀

正直申しますが、全国の近い年代の先生方のご活躍に焦りしか感じません。それでもそこから刺激を受け、切磋琢磨していくきっかけが U-40 活動の中にあります。それを活かして知識・経験・技術を日々磨きます。今年の目標は心房中隔欠損症手術をする(未経験)、新たな趣味を5つ(昨年の新趣味はボクシング見る、ダイビング見る、バイオリン聞く、万年筆使うなど)見つけることです。

#### 中国四国支部幹事





愛媛支部の浪口謙治です。心臓外科医として成長するため

「心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う」を座右の銘として頑張っていきます。特に今年は「体」部分を鍛えて、動脈硬化で石灰化した内膜をぶち破れるだけの筋力をつけるようトレーニングをしていく次第です。 幹事の皆様へお願いがあります。もし、僕が違った方向に進んでいるようなら温かく教えてあげてください。

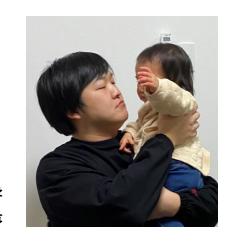
#### 中国四国支部幹事





高知県幹事の衣笠由祐です.このご時世、オンライン中心の企画が多くを占めるようになり、少し寂しい気持ちもありますが、一方で所属支部だけでなく他支部との交流を持てる機会が圧倒的に増えたのは非常に良いことだと思います。我々だけでなく、未来の心臓外科医が魅力を感じるコンテンツを提供できる環境を構築できるよう尽力して参りたいと思います。

#### 中国四国支部幹事



鳥取大学 掘江 弘夢

2012年卒掘江弘夢と申します。

まだまだコロナ禍からは脱せず対面での交流が制限される中、オンラインでの座学、ハンズオンに多くの参加者が集うたびに、同志がこんなにもいるんだとあらためて実感しています。いつかまた対面で交流ができることを目指し、今後も中四国代表の一員として尽力いたします。

私は島根県松江市の出身であり、18で隣県の鳥取県米子市にあります鳥取大学へ入学、そのまま同大学の心臓血管外科医局へ所属しています。ほぼ山陰という土地から足を出さない人生ではありますが、この小県からなんとか発信していけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

研修医時代に結婚、現在は3児の父という側面もあります。私の入局時と比してこの10年で 医師のワークライフバランスはだいぶん改善されていているとはいえ、心臓血管外科医と父 親の両立の難しさは底知れず、その点に関してもこのU-40の活動の中で学会へアピールして いけたらなと考えています。

#### 中国四国支部幹事

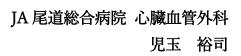


徳山中央病院 松野 祐太郎

山口県幹事の松野祐太朗です。幹事として2年目の年となりましたが、新型コロナウイルスの収束がつかない中の、U-40 の活動が続いております。しかし、各支部の先生方の尽力の結果、オンラインでのレクチャーは非常に充実したものであり、かえって参加しやすく、勉強になる1年でありました。以前のようなオンサイトでの活動も再開できることを待望してはおりますが、現状でしかできない活動も、今後の糧になると感じます。今後も地域の枠を超え、交流を広げていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(プロフィール写真のころのように、学会先で楽しく活動したいものです。)

#### 中国四国支部幹事





中四国支部幹事 JA 尾道総合病院 心臓血管外科の児玉 裕司と申します。時間が経つのは早いもので、少し前まで受講者として U40BLC に参加していた気がするのですが気がつけば幹事の任期もあとわずかとなり、over 40 になろうとしております。若手の皆さん「時は金なり」とはよくいったのもで、時間はあっという間に過ぎますので限られた時間を大事に、様々なことにチャレンジしていってください。U40 の幹事として少しでもそういったチャレンジの機会を作れるよう助力していこうと思いますのでよろしくお願いします。また、この1年は COVID-19 の影響で BLC もこれまでの現地開催と変わってオンラインの形態となりました。個人的には大勢の参加者や講師の先生方と直接交流のできる従来の形式の BLC が好きでしたので1日でも早く COVID-19 の状況が改善し、また皆で集まって BLC が開催できる日が来ることを願っております。

### 九州沖縄支部

当支部は、福岡4名、佐賀1名、大分1名、宮崎1名、鹿児島1名、沖縄1名の9人のメンバーで構成されており、2019年までは毎年夏にBLCを開催し、飲み会(意見交換会)などを行ってきました。ここ数年はコロナ禍ということもあり、定期的にWEB会議を行い、BLCや学会活動、近況などについて話し合っています。BLCの活動もいろいろと変革され、当支部でもオンラインでのサポートや座学の講演など様々な形でU40の活動に取り組んで参りました。特に今年は、第51回日本心臓血管外科学会U40特別企画での発表・討論の内容を心臓血管外科学会雑誌に掲載し、若手のキャリア形成についてまとめさせて頂きました。皆様がより良い心臓血管外科ライフを送れるよう、九州、また全国の若手を盛り上げていきたいと思います。

#### 九州沖縄支部長

U-40 九州沖縄支部 担当理事 大分大学医学部付属病院 心臓血管外科 宮本 伸二 先生



今ハイブリッド開催となった心臓血管外科学会で横浜に来ていますが、やはり普通にソーシャルディスタンスが取れる田舎から隣に人が座る電車に乗る都会に出てくると息がつまります。二重マスクにマイ消毒スプレー携帯。実のところ大分も蔓延防止解除後二山目がきているのですが。U-40 は山本理事と連携し、コロナ時代の研修方法を模索・確立・実施してきました。たいしたものだと思いますが、リモートでの技術の伝承の困難さを改めて実感しているのではないかと思います。今年度私は福岡大学の和田教授と解離の合併症とその予防方法をウエブ講演させていただきました。若いとはいえ専門家に教えるとなるとかなりの気合が入ります。間違ったことを教えると即患者さんの健康被害につながってしまいますから。おかげさまで最新の知識を私自身も身に着けることができました。ありがとうございました。コロナとの長期戦を覚悟し、これからは完全接触フリーの研修という形式から、ある程度感染リスクを抑えた形での実技講習を模索していく必要があるのではないかと思います。困ったときがチャンスです、頭のよくなるチャンスです~とうたいながら。

#### 九州沖縄支部代表幹事

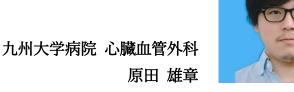


聖マリア病院 和田 久美子

渡邊隼先生、西村征憲先生、野上英次郎先生に次いで、2019 年度より後任を務めさせて 頂いております和田 久美子と申します。医局は久留米大学心臓血管外科に所属しており ます。

入局の際、女性外科医としてのキャリアパスを作っていってほしいと言われました。ようやく昨年結婚はできたものの、妊娠・出産や子育てはまだ未経験です。結婚生活や妊活など、40歳近い身としてはなかなかしんどく、心臓血管外科の激務を続けていくことが困難で、現在は外来主体の勤務となっております。心臓血管外科専門医は取得したものの、外科医としての修練をどうやって積んでいくべきなのか、また継続は可能なのか、私自身も先行き不透明ではありますが、U40での活動を通して様々な刺激や気付きがあるかと思います。働き方改革や外科医のワークライフバランス、専門医制度、コロナ禍での Off the Job Training など、若手心臓血管外科医の抱える課題は多くありますが、少しでもそういった課題が解消されるよう、微力ながら U40 の活動に貢献できればと思っています。

#### 九州沖縄支部副代表幹事





# 九州沖縄支部幹事



琉球大学病院 比嘉 章太郎

皆様こんにちは。U-40 九州沖縄支部幹事を務めます比嘉章太郎と申します。私はまた血管外科グループとしても活動しております。U-40 幹事の皆様とはオンラインでお会いしておりますが、オンサイトでの学会活動が再開され、実際に会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。U-40 の横のつながりが年々強くなっていることをとてもうれしく感じ、日々楽しく活動しております。これからも U-40 や学会活動にも貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

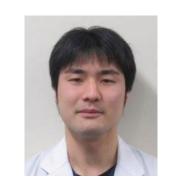
### 九州沖縄支部幹事



福岡大学 心臓血管外科 寺谷 裕充

九州沖縄支部幹事,福岡大学心臓血管外科の寺谷裕充です。2022年1月より長崎大学病院で従事させて頂いております。今年度も可能な範囲でU40の活動にお力添えできればと考えております。よろしくお願いいたします。

### 九州沖縄支部幹事



鹿児島大学病院 心臓血管外科 永冨 脩二

九州沖縄支部幹事を務めさせていただきました鹿児島医療センターの永冨脩二です。 本年度で退任となりましたが、今後も学会などさまざまな形で皆さんと協力していければ と思います。よろしくお願いします。

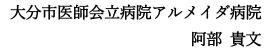
# 九州沖縄支部幹事



県立宮崎病院 川越 勝也

U-40 九州沖縄支部の幹事を務めさせていただいております川越勝也と申します. 自分自身もまだまだ指導を仰ぐ立場ではありますが、精進していければと考えております。コロナ下でなかなか集まっての勉強会等できないですが、円滑に U-40 の活動が進むよう微力ではありますが頑張っていきたいと思います.よろしくお願い致します.

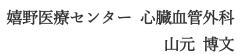
# 九州沖縄支部幹事





2018年の九州沖縄支部のBLC に参加した際、幹事のお誘いを頂いたのをきっかけに幹事を務め4年目になります。新型コロナウイルスの蔓延とともに、U-40 は今まで対面で行なっていたBLC などの企画をオンラインへ移行して参りました。オンラインになったことでより参加しやすい環境となったと思いますので、U-40 世代の先生の積極的な参加をお待ちしております。医局や病院の枠を越えて、同世代の心臓血管外科医との繋がりができる貴重な機会になると思います。今年度も宜しくお願い致します。

## 九州沖縄支部幹事





嬉野医療センター心臓血管外科の山元博文と申します。

2020年より U40 の幹事として活動に参加させていただき、他の施設の先生方と交流することで大変貴重な経験をさせて頂いております。今年も U40 の活動をとおして自分自身も様々なことを学びつつ、少しでも貢献できるように努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

## 九州沖縄支部広報

### 産業医科大学 心臓血管外科 幾島 栄悟



2019 年度から九州沖縄支部幹事・全体広報として U-40 の活動に参加してきました。 U-40 の活動で得た経験や、他施設の心臓血管外科医との交流は非常に刺激的で学ぶこと の多い 3 年間でした。本年度で退任しますが、今後も U-40 の活動に協力させて頂きたい と思います。

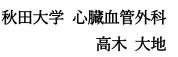
# U-40 プロジェクト

U-40 では、現在

- "日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム",
- "Advanced Lecture Course (ALC)",
- "基本技術定量化プロジェクト".
- "先天性プロジェクト"
- "女性医師キャリア形成プロジェクト"
- "NOTSS (Non-Technical Skill for Surgeon) プロジェクト"
- "血管外科プロジェクト"
- の7つのプロジェクトが進行しています.

ここでは、各プロジェクトの代表者から本年度の活動を報告致します.

# 日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム





#### 【2021 度 活動報告】

コラムプロジェクトは、全ての心臓血管外科医師へ送られる心臓血管外科学会雑誌に毎号 掲載される U-40 コラムを企画・運営するプロジェクトになります。

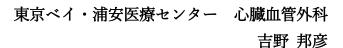
U-40 コラムは、「U-40 Surgical Skill Sharing —今更聞けない心臓血管外科基本手技」を 主テーマに、若手心臓血管外科医が行う手技の共有と一般化を目標として始まりました。 2020 年の日本心臓血管外科学会には本コラムが書籍化され、転換期を迎えました。

その後は、「働き方改革」や「新専門医制度」など、我々若手心臓血管外科医の今後のキャリアアップに大きく関わる分野に対して情報共有・意見集約を行い、心臓血管外科学会雑誌のコラムとして発信させていただいています。

コラムプロジェクトは U-40 の活動を報告する場のため、プロジェクトメンバーはさまざまな活動報告と触れ合うことになり、その中で、興味を持ったり、新たな活動を思いつくことがあります。別に紹介をしますが、Non-Technical Skill for Surgeon (NOTSS) プロジェクトはコラムプロジェクトの活動から派生した活動です。コラムプロジェクトに携わりながら、新たな活動を始めることも可能ですので、興味のある方は是非プロジェクトチームへ入ってもらえればと思います。

一緒に、U-40の理念である3つの笑顔に貢献できるよう努めていきませんか?

## Advanced Lecture Course (ALC)





#### 【プロジェクトメンバー】

幾島栄悟、石澤愛、石田圭一、今村優紀、衣笠由祐、高橋賢一朗、伊達数馬、 中川さや 子、西俊彦、沼口亮介、比嘉章太郎、松野祐太朗、田中千陽

#### 【2021年度活動報告】

U-40 Advanced Lecture Course(ALC)は、Basic Lecture Course(BLC)からさらに一歩進んだ内容を学ぶことを目標に、U-40 会員を対象にレクチャー、ハンズオンなどを行っています。コロナ渦以前は、全国 8 支部で年 1 度行われていた BLC において予選会を行い、予選通過者による冠動脈バイパス(CABG)コンテストを行っていました。また幅広いテーマについて学ぶべく、2020 年度は不整脈外科のハンズオンを行いました。その後 COVID-19 感染拡大を受けオンサイトのハンズオンは開催ができない状況が続きましたが、2020 年 9 月には参加者オンサイト、講師オンラインのハイブリッド開催で ALC を行いました。2021 年度はオンサイトでの学会開催の再開に伴い、オンサイトでのハンズオンを企画しました。第35 回心臓血管外科ウィンターセミナーにて Sutureless valve(感染再拡大で延期)、第52 回心臓血管外科学会総会で VSP repair、Maze 手術、弁輪拡大のハンズオンを行います。また今年度はオンラインで BLC を開催しており、参加者の中で特に吻合手技が秀でていた先生 4 名を選出し、CABG のハンズオンセミナーを開催する予定としています[表]。

今後も U-40 の若手心臓血管外科医のみなさまに、一歩進んだ内容のハンズオンレクチャーを提供できるよう、プロジェクトチーム一同で活動を続けていきたいと考えています。

レクチャーテーマ	講師	開催方式
sutureless valve を用いた大動脈弁置換	新浪 博士先生	現地開催(延期)
右室アプローチ VSP 修復	浅井 徹先生	現地開催(3/3)
メイズ手術	新田 隆先生	現地開催(3/4)
弁輪拡大 AVR	山岸 正明先生、阿部 恒平先生	現地開催(3/5)
case scenarios を用いた CABG ハンズオン	吉田 成彦先生	現地開催(3/13)

# 基本技能定量化プロジェクト

名古屋市立大学 心臓血管外科 慶應義塾大学 外科学(心臓血管) 山田 敏之



#### 【2019年度 活動報告】

本プロジェクトは、元々は U-40 の OB である安水大介先生(大阪市立大学)が担当され、金魚すくいの「ポイ」を用いたニードルワークを企画されました。脆弱な組織で運針するという「過負荷」の状態で、しかしまた「ポイ」を縫うというユニークで面白いトレーニング法として考案されました。私自身ここ数年、個人的な研究テーマとして慶應義塾大学(JKiC: JSR・慶應義塾大学 医学化学イノベーションセンター)にて手術トレーニング・評価法の開発に従事してきましたので、安水先生よりこのプロジェクトを引き継がせていただきました。

手術の基本技術を定量化するためには、まずは手技を行う対象と評価法の定量化・定型化が必要です。トレーニングの対象としてはポイで定量化・定型化されましたので、次のステップとしてその評価法を定量化・定型化することを目指し、スマートフォンのカメラを利用したポイの縫合トレーニング自動評価アプリの開発をスタートしました。

アプリを開発するには、科学的な妥当性のある評価方法を有するアルゴリズムを開発すること自体はもちろんのことですが、そのためにアプリ開発チームを構成すること、アプリを作るための開発費の獲得、アプリをアプリとして成り立たせること、その運用方法等、医療の枠組みを飛び出し社会の成り立ちを勉強させていただく機会になりました。妥当性のある評価方法の確立は、本プロジェクトを論文化することで達成できました(Journal of Surgical Education. DOI: 10.1016/j.jsurg.2021.12.012)。また、アプリのプロトタイプは既に AppStore からダウンロード可能となっています。しかし未だ使い勝手が悪いので、採点精度の向上とユーザーインターフェースの改良を済ませた完成版へのアップデートを目指しています。さらには採点精度の向上のために、金魚すくいのポイ生産日本シェア No. 1 企業とコラボレーションして本アプリ専用のポイを作成中でもあります。これらが全て整った際には、U-40 はもちろんのこと、心臓血管外科の枠組みを超えて外科系診療科全体、また日本国内の活動を超えて全世界中に本プロジェクトを「バズらせる」ことを本気で夢見ています。「その時」が来ることにご期待ください!

いつの間にか私も今年で 40 歳となりましたので、まずは前述を 2022 年度の私の達成目標とし、今後は後進にこの活動自体は譲りたいと考えております。今後は、U-40 の OB として引き続き「基本技術定量化プロジェクト」に携わりたいと考えてはおりますが、アプリ開発を通して得た知見を元に、単なるトレーニング法の開発だけではなくその運用や仕組みをアップデートすべく、新たな開発費の獲得方法(クラウドファンディング等)に挑戦したり、トレーニング自体がもっと安価で手軽なものとなるようなアイデアを創出したり、等、我々若手心臓血管外科医が手術トレーニングを通して自分たちのあるべき姿を自分たち自身で考えていけるような活動を提案していきたいと思っております。このような取り組みに興味のある方はぜひご参加ください!(連絡先: to.yamada.2009@gmail.com)

# 先天性プロジェクト

U-40 先天性プロジェクトリーダー: 平野 暁教(福岡こどもに国内留学中) サブリーダー: 原田 雄章(福岡こども)

メンバー:本宮久之(京都府立医大),伊藤貴弘(千葉こども),小渡亮介(弘前大), 桑原優大(榊原記念病院),中村悠治(静岡こども),片桐絢子(東京女子医大), 森佳織(横浜市立大),中川さや子(四国こどもとおとな医療センター)

2020 年度の U-40 先天性プロジェクトの活動報告をいたします。

U-40 先天性プロジェクトでは、小児心臓血管外科に必要なスキル向上のための Off the Job Training や、今後の小児心臓血管外科医育成について、若手の意見の集約と現場のニーズに合わせた小児プログラムを考えていくことを目的として活動しています。

#### 【U-40 先天性プロジェクトの Mission】

- ・各支部 BLC での小児心臓外科領域のトレーニングの充実
- ・小児心臓血管外科医育成にむけた Off the Job Training の計画と充実
- ・U-40 小児心臓血管外科のための情報共有と情報交換

#### 【U-40 online BLC 講義】

2021 年度は東京支部の BLC 講義の一環として「先天性」のテーマで「徹底的にファロー四徴症!」の総集編を平野が行い、「TGA」基礎と手術ビデオ供覧を東京支部幹事の片桐絢子先生と鈴木孝明先生に行っていただきました。web 環境下での手術ビデオ供覧は、学術集会のビデオセッションでは聞けないような細かいお話も聞くことができ、有用と感じました。今後は、「Web 手術見学」企画として、CHSS Japan に提案をしています。

(写真は TGA 手術ビデオ供覧していただいている鈴木孝明先生)



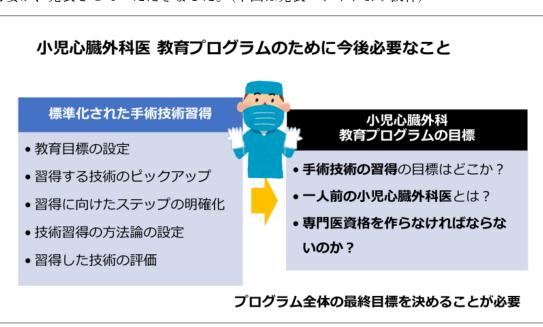
#### 【第57回 日本小児循環器学会総会 シンポジウム発表】

2021 年 7 月 9 日から 11 日まで奈良で開催されました日本小児循環器学会総会・学術集会にて、「シンポジウム 1 患者と医師の安全、医療の継続性を実全するための制度設計」に U-40 として発表をさせていただきました。当該シンポジウム中に、日本小児循環器学会として「先天性心疾患の手術実施施設集約化に向けての提言」(JSPCCS 奈良提言)がなされています。年間手術数が少ない施設での高難易度手術はO/E 比として死亡率が高い、という根拠の元なされている提言です。(下図, 筑波大学 平松祐司先生による提言スライドから頂戴)

#### 先天性心疾患の手術実施施設集約化に向けての提言

- □ 年間手術数150例以上を目標として、安全で良質な外科医療を持続的に提供するための 先天性心疾患手術実施施設の集約化を5年を目途に推進すべきである
- □ 手術実施施設は、次世代育成能力を持った多職種ハートチームを有することが求められる
- □ 手術実施施設は、集中治療専門医研修施設である独立した小児ICUを備えることが望ましい
- □ 集約化により、すべての手術実施施設が2024年度から始まる『医師の働き方改革』に準拠 し得る体制となることが望ましい
- □ 集約化への第一歩として、JSTAT category 3以上の高難度手術は、年間手術数50例未満の施設では実施を控えることが望ましい

U-40 としては、「小児心臓血管外科医育成プログラムへの提案」として、今行っている online BLC の内容も引き合いに出しながら、今後若手小児心臓外科医を育成する教育プログラムとしてどのようなことが必要か、発表させていただきました。(下図は発表スライドより抜粋)



#### 【2021 年度 第 1 回 JSPCCS 外科系教育セミナー 「VSD 一問一答」】

2021年7月10日第57回日本小児循環器学会総会中に開催されました第1回外科系教育セミナーに今年もU-40先天性プロジェクトとしてコラボレーションさせていただきました。

座長に原田雄章先生(福岡こども)、パネリストに本宮久之先生(京都府立医大)、伊藤貴弘先生(千葉こども)、大沢拓哉先生(あいち小児医療センター)が登壇させていただきました。VSD の術中写真をもとに、術者がどのように運針をプランして行っていくかのディスカッションを行うことが出来ました。

#### 【2021 年度 第 2 回 JSPCCS 外科系教育セミナー「指導医の VSD 閉鎖を術者目線で解説します!」】

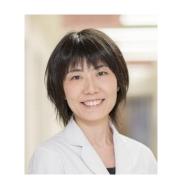
2021年11月27日にWebinarとして開催されました第2回日本小児循環器学会外科系教育セミナーにも引き続き参画させていただきました。先の企画の後編として、指導医のVSD閉鎖はどのような思考 flow で行われているかを東京女子医大新川武史先生と榊原記念病院和田直樹先生よりご解説いただきました。総登録者数 276名,当日視聴者 178名とかなりの盛会となり、Webinar ながら活発な議論がなされました。

2021 年度 第 3 回 外科系教育セミナー「新生児・乳児の安全な人工心肺確立」は 2022 年 3 月 12 日 (土)に webinar で開催される予定です! 今後も継続的にコラボさせていただくことになっていますので、ご期待ください!

#### 【日本小児循環器学会 次世代育成委員会の委員として】

U-40より平野と本宮が日本小児循環器学会次世代育成委員会に委員として参加させていただいています。JSPCCS 奈良提言でされた小児心臓手術の施設集約と、次世代を育成するための教育プログラム策定を軸に現在進行形の議論がなされています。U-40 先天性プロジェクトに参加してもらっている幹事からも意見をもらいつつ、今後の若手が小児心臓外科に成りたい!と思える制度設計にしていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いいたします!

# 女性医師キャリア形成プロジェクト



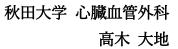
横浜市立大学附属病院 根本寛子

昨年度、女性心臓血管外科医が働きやすい環境を考え提案し、心臓血管外科全体の環境改善に繋げることを目標に、当プロジェクトが発足しました。

1年目は、主に女性の支部代表の先生方にご協力をいただいて、女性心臓血管外科医の座談会を配信しましたが、これは、まずは皆で悩みを共有できる場を作ることが目的でした。今年度は、心臓血管外科における性差意識や、性差がもたらす異性への無意識の思い込みのバイアス、いわゆる unconscious bias を知るために、心臓血管外科学会の全会員を対象に「心臓血管外科における性差意識の本音を知るためのアンケート調査」を行いました。このアンケートで自身の性差意識がわかり、無意識の思い込みに気付くこともできます。また、男女別、世代別の傾向を明らかにすることは、男女が互いの性差を認識しながらも一緒に良い職場環境を作っていこうとするきっかけにもなります。多くの先生方からご回答を頂戴することができ、厚く御礼申し上げます。アンケートの結果は集計後に皆様にご報告できるよう、現在準備しております。

なお、今年度をもちまして根本が幹事を退任させていただくのに伴い、来年度のプロジェクトリーダーを野田美香先生(中部支部代表)、サブリーダーを森佳織先生(関東甲信越支部幹事)に引き継ぎました。引き続き皆様よりご支援を賜れますと幸甚です。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

# NOTTS (Non-Technical Skill for Surgeon) プロジェクト





心臓血管外科医として、テクニカルスキルの向上は必須であり、Off the job training が専門医制度に導入され、また教科書や企業が主催する wet lab など、一定の基盤が 既にできています。

一方で、チーム医療の重要性が報告されていますが、チームを形成するための「コミュニケーション」「情報共有」などの様々なノンテクニカルスキルについて系統的に学習する機会はほぼ皆無です。先輩・後輩、他職種との関係性をどのように構築するか、レジリエンスの高いチーム形成とは何か、リーダーシップとは、コーチングを行うには、など多くの方が悩んでいることだと思います。

メンバーとして、中間管理職として、リーダーとして、部長・教授としてどのように振る舞い、どのように患者を救っていくか、それらを学んでいく場を作っていくのがNon-Technical Skill for Surgeon (NOTSS) プロジェクトの目的です。プロジェクトメンバーになることで、最前線でノンテクニカルスキルを学ぶことが可能です。今後は、ノンテクニカルスキルが心臓血管外科手術において成績向上につながることなどを報告していきたいと考えています。興味のある方は是非プロジェクトチームへ入ってもらえればと思います。

# 血管外科プロジェクト



# 琉球大学病院 比嘉 章太郎

2020年より発足した U-40 血管外科グループとして活動しております琉球大学病院の比嘉章太郎と申します。現在は旭川医科大学の竜川貴光先生、平塚市民病院の林啓太先生、名古屋大学の鶴岡琢也先生、愛知医科大学の今枝佑輔先生の 5 人のメンバーで活動しております。

心臓血管外科学会会員の中でも血管外科を専門にされている先生方も多くいらっしゃると思います。U-40の中で血管外科を専門にしたいという先生や、血管外科領域にも興味があるという先生へ少しでも有益な情報が届けられればと思っております。

2021 年度の活動として、BLC レクチャーと心臓血管外科学会特別企画での発表をさせていただきましたのでご報告いたします。

2021年12月11日(土)にBLCレクチャーとして山口大学血管外科の森景側保先生と千葉大学医学部附属病院放射線画像センターの小泉淳先生を講師としてお招きし、オンラインで「塞栓物質」をテーマに講義を行っていただきました。「塞栓物質」は血管外科、放射線科領域ではホットな話題であり、ステントグラフト治療においてエンドリークを予防、制御するために重要な治療選択となります。森景先生からはこれまで先生が積極的にされているType2エンドリーク制御のための腰動脈塞栓を中心にお話していただきました。小泉先生からは塞栓物質の一つであるNBCA(n-butyl-2-cyanoacrylate)に関して、先生がされていた実験データを交えてお話していただきました。私を含めてNBCAは使い慣れていない先生が多いのではないかと思いますので、非常に有意義な講義だったなと感じております。

続いて 2022 年 3 月 3~5 日に横浜で開催された第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会の U-40 特別企画の中で「心臓血管外科学会における血管外科医の役割」という演題で発表させていただきました。我々血管外科が心臓血管外科学会の U-40 という組織の中で活動する意味、我々に求められているものはなにかということをテーマに 2022 年 1 月に U-40 会員を中心にインターネットアンケートサービス Survey Monkey を用いてアンケートを行い、その結果を報告いたしました。回答いただいた先生の内訳をみると、大血管や末梢血管外科を専門としている先生は 2 割弱にとどまっており、心臓血管外科の先生が末梢血管外科領域までカバーして診療されていることが明らかになりました。また学会では心臓を専門とされている先生も血管外科領域のセッションに参加し勉強されているとの回答が得られました。EVT に関する質問では 7 割の超える先生が血管外科が EVT をするべきと回答してくださいました。その理由として公平に術式選択が行えるとのご意見をいただきました。これらを踏まえて我々としては、学会活動を通じてこれからも血管外科領域における有用な情報を発信し続けることが重要であると結論に至りました。

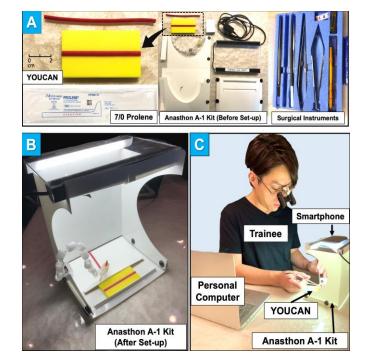
2022 年度の活動に関しては、コロナの状況に左右されるところもありますが、BLC レクチャーとハンズオンレクチャー(なにがやりたいかも募集中!)ができたらいいなと考えております。また一緒に活動してくださる先生も募集中ですので、我々の活動に興味のある方はぜひご一報ください。血管外科分野として心臓血管外科の先生方と一緒に学び、活動してきましょう!

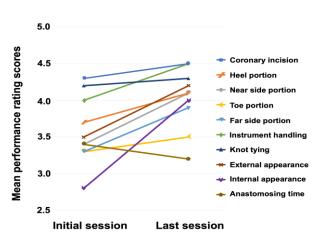
# オンライン BLC

## オンライン OFFJT (Off the Job Training)

今期のオンラインハンズオンは Zoom®を用い、冠動脈吻合を想定しEBM社のYOUCAN、動脈グラフト血管モデル(A)とオンライン BLC のために開発されたAnasthon Online Off-JT Kit 1 (B) を使用し開催されました.

2020 年 9 月から 2021 年 9 月までの期間に合計 32 回,100 名以上の講師の先生方とのべ100 名以上の受講者に参加頂きました.





Takahashi K, et al. JTCVS open 2021



JTCVS Open Volume 8, December 2021, Pages 524-533



Adult: Education

Remote simulator training of coronary artery bypass grafting during the coronavirus disease 2019 pandemic

Kenichiro Takahashi MD a 유 점, Chiharu Tanaka MD, PhD <sup>b</sup>, Ryosuke Numaguchi MD, PhD <sup>c</sup>, Yoshinori Kuroda MD, PhD <sup>d</sup>, Hiroko Nemoto MD <sup>e</sup>, Kunihiko Yoshino MD <sup>f</sup>, Mika Noda MD, PhD <sup>g</sup>, Yoshinori Inoue MD <sup>h</sup>, Kumiko Wada MD <sup>f</sup>, Committee of The Japanese Society for Cardiovascular Surgery Under Forty

オンライン Off JT は 3 学会構成心臓血管外科専門医認定機構の定める心臓血管外科専門医申請に必要な Off JT 30 時間のうち、1/3 まで認められることになりました.

今回のオンラインハンズオン血管吻合トレーニングの効果は学会の助成のもと JTCVS Open に Remote simulator training of coronary artery bypass grafting during the coronavirus disease 2019 pandemic <a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34458874/">https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34458874/</a> として報告されました。2回以上の参加者は手技レベルの向上がみられました。

## オンライン BLC 講義

従来はハンズオンと同日に開催していましたが、2020年度よりハンズオンのオンライン化 の流れを受け座学講義もオンライン化されました。

各支部、プロジェクトでテーマを設定し、Zoom®を用いた Webinar 形式で開催されました。

オンライン BLC のポータルサイト (<u>https://u40blc.web.fc2.com/</u>)から参加登録し、本年度 の参加料金を支払い登録すればオンデマンドでも視聴可能です.

今年度の BLC 講義から順次アーカイブ化されており、学会ホームページで閲覧可能になっ

テーマ	MAN	開催日時	担当支部
虚血性僧帽弁閉鎖不全症	若狭 哲 先生 (北海道大学)	2021/7/17	北海道
高齢化社会における大動脈弁置換術を多視点で診る	紙谷 寛之 先生 (旭川医科大学)、八戸 大輔 先生 (札幌ハートセンター)	2022/1/15	北海道
三尖井逆流	皆川 正仁 先生 (弘前大学)	2021/8/28	東北
心原性脳梗塞予防&難治性心室頻拍予防	奥村 謙 先生 (済生会熊本病院)	2022/2/26	東北
本外循環の基礎	百瀬 直樹 先生 (自治医科大学付属埼玉医療センター臨床工学部)	2022/1/29	関東甲信越
大動脈基部手術	國原 孝 先生 (東京慈恵会医科大学)	2021/7/31	関東甲信越
ファロー四徴症	U-40 東京支部幹事	2021/5/9 東京	
完全房室中隔欠損症。完全大血管転移	鈴木 孝明 先生 (埼玉医科大学国際医療センター)	2021/5/15	果水
	岸慶太先生		
~After 40 が語る~ 再発ゼロを目指した深部胸骨創感染 tactical front	石田 勝大 先生	2021/11/5	東京
	宮脇 剛司 先生 (東京慈恵会医科大学 形成外科)		
感染性心内膜炎	竹村 博文 先生 (金沢大学)	2021/8/14	中部
京米住心内族文	高橋 芳徳 先生 (金沢大学付属病院)	2021/0/14	
発生学から考える心臓血管解剖	猪飼 秋夫 先生 (静岡こども病院)	2022/2/5	中部
養雑病変のCABG	藤田 知之 先生 (国立循環器病研究センター)	2021/6/19	近畿
TAVI-適応と実際-外科および内科の立場から	前田 孝一 先生 (大阪大学), 法里 優 (京都府立医科大学)	2021/12/11	近畿
末梢血管病変	山口 修 先生 (山口県立総合医療センター)	2021/7/3	中四国
心筋保護	太田 教隆 先生 (愛媛県立新居浜病院)	2022/2/12	中四国
他性大動脈解離~malperfusion	宮本 伸二 先生 (大分大学),和田 秀一 先生 (福岡大学)	2021/6/5	九州沖縄
術後管理① CALS	野上 英次郎 先生 (福岡徳洲会病院)	2021/11/20	九州沖縄
<b>制後管理② 術後心房細動</b>	高木 大地 先生 (秋田大学)	2021/11/20	
ステントグラフトの基本	U-40血管外科プロジェクトメンバー	2021/3/4	血管外科プロジェクト
態栓物質	U-41血管外科プロジェクトメンバー	2021/12/11	血管外科プロジェクト
外科医のノンテクニカルスキル	本章 如子 (上版上版版版 (A A A A A A A A A A A A A A A A A A	2021/4/24	NOTTSプロジェクト
術中のストレスマネジメントはどのように行うべきか	中島 和江 (大阪大学医学部付属病院 中央クオリティマネジメント部)		
第一回 チーム医療,ノンテクニカルスキルを磨く	I D W ALL (A L D L MA WATE)	2021/9/18	
第二回 チーム医療、ノンテクニカルスキルを磨く	上田 裕一 先生 (名古屋大学名誉教授)	2021/10/2	NOTTSプロジェクト

# 第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会 U-40 特別企画「心臓血管外科とダイバーシティ」発表報告

#### 関東甲信越支部 根本 寛子

2022年3月3日~5日、第52回日本心臓血管外科学会学術総会が開催され、関東甲信越支部理事の鈴木孝明先生が会長を務められました。今年度のU-40特別企画は、3月3日、「心臓血管外科医の未来とダイバーシティ」をテーマに当支部が担当しました。

近年、ダイバーシティの概念が広がっていますが、心臓血管外科社会には浸透していません。心臓血管外科医への固定観念から、若手医師が将来の進路やキャリア形成に悩む現状もあります。チーム医療において個人の違いが尊重され、各々が秀でた才能を生かせれば、心臓血管外科医としてのキャリアを継続でき、集団全体の能力アップも目指せるはずです。我々が心臓血管外科分野でどのように多様な未来を作っていけるか考えました。

最初に支部幹事の北條竜司先生より、U-40 会員へのアンケート調査の結果が報告されました。若手の不安の背景で多かったものは、労働環境、術者経験、家庭でした。働き方改革は進んでおらず、外科医の報酬制度には全員が賛成でした。また、体力面と家庭との両立から女性よりも男性の方が心臓血管外科医に有利との意見が多数でした。育児の大部分を家族に任せている心臓血管外科医は9割以上で、多くがもっと育児に関わりたいと思っていました。心臓血管外科医になる年齢については、信念があれば年齢を重ねても可能ではないかという意見が多かったです。このような問題がある中でも、心臓血管外科分野においてもダイバーシティは実現できると思う回答者は多く、解決策を探るために4名の先生方にご講演いただきました。幹事の新津宏和先生と横山泰孝先生もパネリストで登壇されました。

まず、九州医療センターの森田茂樹先生に、心臓血管外科医の職場環境の改革についてお話しいただきました。米国の外科医が手術に専念できる仕組みと比較しながら日本の職場環境を考え、状況の改善には診療の効率化が重要で、外科医が仕事を続けていけるような報酬制度や輪番制度などを立ち上げられたことは大変勉強になりました。

大和成和病院の田畑美弥子先生には、ご自身の女性心臓血管外科医としてのキャリアパスについてお話しいただきました。出会いを大切に、目標に向かって努力を続け、着実に経験を積んでいくという、 外科医としての基本的な心構えを教わり身の引き締まる思いがしました。

菊名記念病院の奈良原裕先生は、民間企業へのご勤務を経て心臓血管外科医になられ、他の事業も幅広く展開されており、マルチキャリアの心臓血管外科医の生き方についてお話しいただきました。診療科の構造改革や労働環境の改善により  $+\alpha$  の活動が支えられていること、また  $+\alpha$  の活動は心臓血管外科にシナジー効果をもたらし、診療科に留まらない良い効果も与えていることが分かりました。

最後に U-40 血管外科プロジェクトから、比嘉章太郎先生に心臓血管外科における血管外科医の役割についてお話しいただきました。多くの施設では心臓血管外科医が血管外科領域の診療をカバーしており、血管外科医は手術や周術期管理に関する専門的な情報を提供できること、また血管外科領域には、U-40 世代が術者になれる手術も多いことなどから、両者が協力して診療を行うことの大切さを実感しました。

ダイバーシティが関連する内容は幅広く、限られた時間内では十分な討論ができませんでしたが、心臓血管外科分野にダイバーシティの概念は必要か、という我々の質問に対しては概ね必要であるというご意見が多かったです。若手医師が心臓血管外科医としてのキャリアを長く続けていくための多くのヒントを得られる、有意義な会であったと思います。

# 第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会 U-40 ALC プロジェクト主催 ハンズオンセミナー報告

2022年3月3日から5日までパシフィコ横浜ノースで開催されました第52回日本心臓 血管外科学会学術総会において、U-40 ALC プロジェクト主催のハンズオンセミナーを開催 致しました。

3月3日は講師に**浅井徹先生**(順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科)をお招きして VSP 閉鎖術のハンズオンセミナーを、3月4日は講師に新田隆先生 (羽生総合病院循環器統括顧問)、インストラクターに深原一晃先生(富山大学第一外科診療)、山口裕己先生(昭和大学江東豊洲病院 循環器センター心臓血管外科)、榎本佳治先生(茨城県立中央病院循環器外科)と U-40 副代表の高橋賢一郎先生(大和成和病院 心臓血管外科)をお招きして心房細動手術のハンズオンセミナーを、3月5日には山岸正明先生(京都府立医科大学小児心臓血管外科)、阿部恒平先生(聖路加国際病院心臓血管外科)をお招きして弁輪拡大手術のハンズオンセミナーを開催しました。

いずれものハンズオンセミナーも定員を超える応募を頂き、また、オンサイトならではの講師陣からの直接の指導もあり熱気のあるハンズオンになりました。

最後にこのような機会を設けて頂いた会長の鈴木孝明先生、運営協力・協賛を頂いた ETHICON,INC.(VSP 閉鎖術)、センチュリーメディカル(心房細動手術)では、弁輪拡大で は日本メドトロニック(弁輪拡大)の各社の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。



VSP 閉鎖術ハンズオン開催風景



心房細動手術ハンズオン開催風景





弁輪拡大手術ハンズオン開催風景

# 2020 年度 U-40 会計報告

	2021年度予算	2021年度決算
U-40関連費用		
(講師謝礼)	3,000,000	134,854
(HPメンテナンス)		264,693
(HPアーカイブ動画)		91,900
(ZOOM)		152,130
(郵送料)		1,640
(ALC賞金等)		50,440
(論文投稿料)		248,248
U-40東京		224
U-40中部		120
U-40近畿		848
U-40中国史国		538
BLC業務委託費	5,000,000	5,500,880
合計	8,000,000	6,446,515

U-40参加収入 700,000 385,000

振込手数料込

### 一 編集後記 一

U-40 広報、関東支部副代表の伊藤貴弘です。Annual report 作成にあたり、各支部長の先生方、各支部幹事の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。2018 年度から Annual report を開始して今回 4回目ですが、年を追うごとに U40 の活躍の内容が増え大変嬉しく存じます。

COVID-19 の感染拡大に伴い、2021 年度も現地開催の BLC は中止としオンライン BLC を開催しました。リアル配信・アーカイブ配信を行うことで全国各支部の講義がいつでも受講可能であり、日常業務が忙しくオンサイトでの参加が難しい若手医師にとって大盛況でした。

また心臓血管外科学会では数年ぶりにオンサイトでのハンズオンを 3 日連続行い大盛況でした。 今後も引き続き U-40 の活動を伝え情報を発信することで、若手心臓血管外科同士がつながり有意義な 時間を共有できるよう尽力いたします。

> 千葉県こども病院 心臓血管外科 伊藤 貴弘

2019 年度より U-40 広報を担当させて頂いております九州沖縄支部の幾島です。本年度も伊藤先生と一緒に年次報告書を作成させて頂きました。お忙しい中ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

今年度で退任となりますが、U-40 との関わりは 2014 年の九州沖縄支部での BLC からでした。その時の BLC は渡邊隼前代表が所属されていた小倉記念病院で開催され、ハンズオンは腹部大動脈瘤手術を想定した人工血管を用いた血管吻合でした。古賀智則先生の前立ちで熱心に指導頂き自身の技術の未熟さを痛感したことを覚えています。その後も毎年 BLC に参加を続け、2019 年からは九州沖縄支部幹事として、また、全体広報として活動に携わることができました。COVID-19 感染拡大に伴う BLC のオンライン化では大規模な変革が必要でしたが、オンライン化を達成する U-40 幹事の行動力には衝撃を受けました。このような同世代の心臓血管外科医と交流できたことは非常に大きな刺激であり、貴重な経験でした。

機会があれば是非 U-40 会員の皆様も積極的に各プロジェクトに参加されたり、新たなプロジェクトを提案されてみてください。今後の U-40 の益々の発展を祈念致します。

産業医科大学 心臓血管外科 幾島 栄悟